

令和3年2月17日

各支部 御中

三重県ソフトボール協会
理事長 大井 義文

「新型コロナウイルス感染症対策に関する大会運営ガイドライン」の制定について

平素は、ソフトボールの普及、振興及び県協会の事業推進にご理解・ご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の感染がいまだ終息しない状況下で、新たなシーズンを迎えようとしています。

県協会といたしましては、各支部の皆様、各チームの皆様を始め、関係するすべての皆様のご理解とご協力を頂いたうえで、事業を進めていきたいと考えているところです。

つきましては、大会を開催する際に、すべての皆様に統一したご認識をいただくため、別添のとおり見出しのガイドラインを作成いたしました。

大会要項に、

『新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、日本協会ガイドライン及び別添「三重県ソフトボール協会 新型コロナウイルス感染症対策に関する大会運営ガイドライン」を順守すること。』

と記載の上、このガイドライン及び健康状態申告書を添付して周知をお願いしたいと考えております。

なお、ガイドライン2-⑦の規定により参加申込をしたチームが棄権した場合の参加料の取り扱いについては、開催支部よりチームに対して参加料の返還を行い、当該返還金相当分を県協会が開催支部に交付することとします。

ぜひ、ご理解いただき、安全に安心してソフトボールに親しむことができるようよろしく願います。

新型コロナウイルス感染症対策に関する大会運営ガイドライン

三重県ソフトボール協会が主催し、又は主管する大会を開催するにあたり、開催できる前提条件として、安全に大会運営を行うため、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を最大限に講じつつ、大会に関与するすべての関係者のご理解と誠意ある対応が必要なことから、以下のとおり大会運営ガイドラインを定める。

1. 対象となる大会

三重県ソフトボール協会が主催する三重県大会
三重県ソフトボール協会が主管する東海地域大会等

2. コロナウイルス感染症の感染予防対策

- ① 開会式は実施しない。
- ② 各自、手洗い、うがいを徹底して行う。
- ③ 試合に参加するすべてのチーム構成員、審判員、記録員のマスク着用を認める。
- ④ 攻守順の決定の際や打順表確認の際の主将、監督、審判員の握手は行わない。
(可能な限り、お互いの距離をあける。)
- ⑤ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了後も同様とする。
- ⑥ チームの監督又はその代行者は、必ず来場前にチーム構成員全員の体調を確認し、受付時に別添「健康状態申告書」により競技委員長に報告すること。
なお、発熱や倦怠感、嗅覚や味覚に異常がある等体調の悪い構成員及び大会前2週間以内に陽性とされた方との濃厚接触をされた方、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方は来場を禁止する。
- ⑦ 参加申込後に、チーム内に感染の恐れがある者がいる、または自主的に感染予防を図ることを理由として、チームの編成に必要な人数が欠員となり、大会を棄権してもこれに対するペナルティーは課さない。

3. 競技上（練習を含む。）の留意点

- ① バット、ヘルメット、グラブ・ミット、打撃用手袋、ロジンバックなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、チームの責任において、こまめに消毒を行う。
- ② 試合中に使用するロジンバックは、各チームが用意する。（使用前に審判員の確認が必要）
- ③ 唾を吐く行為を禁止する。
- ④ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない。
- ⑤ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- ⑥ グラウンドレベルでの円陣は控える。
- ⑦ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2 m（最低1 m）確保する。
- ⑧ 声援や指示を出す場合は、大声の発生を控え、対人距離に注意する。
- ⑨ 監督、コーチが審判員に近づく際に最低2 mの距離を保つ。
- ⑩ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。

4. 情勢の変化等に対する対応

大会開催直前であっても、情勢の変化や上部団体、関係行政団体の指導等により、急遽大会を延期または中止する必要があることをあらかじめ了知いただきたい。

5. その他（重要事項）

参加希望チームは、本ガイドラインに定めるもののほか、コロナウイルス感染予防・競技上の留意点を十分に理解した上で大会に参加すること。

万一、徹底事項に明らかな違反が認められた時点で没収試合となることもある。
（違反チームの不戦負け）

沿革

令和3年2月17日 制定